



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

死ぬのもこわくない

仏さまの世界で遇えるから

過去最も暑い夏、皆さんお元気にお過ごしでしょうか。暑い、暑いといひ愚痴がこぼれますね。だが、「人身受けがたし、今すでに受く。仏法聞き難し、今すでに聞く」というかたじけなさを感じて思い知らされることがありました。

79年目の広島原爆の日、車を運転中、ラジオでこんな話を耳にしました。両親が被爆して亡くなり、幼い姉と弟が残されました。だが一人とも被爆して、特に6歳の弟は衰弱が進んで、髪の毛が抜け始めました。しばらくして子供でも、先が長くない、と感じ始めたのでしようか、両手を合わせるのも難しそうなしぐさで、「なまんだぶ、なまんだぶ」と声もかすれがちながら弟はお念仏を称えました。

「姉ちゃん、僕はまもなく死んでしまふけれど、お父さん、お母さんと同じ仏さまのところに行くんだ。だから、死ぬのも怖くなんかないよ」と振り絞るような声でつぶやき、何度も「有難う」「有難う」と礼を言ったというのです。

一人生き残った姉は結婚して、後に生まれた子供たちに、何度もこの弟の

最期を話して、念仏の教えに生きる尊さを伝えたというお話です。

わずか6歳の子供がよくぞ「俱会一処(仏説阿彌陀經)の救いを聞いて生きぬいてくれたことよ」と感動します。お念仏の救いに遇えば、ともに同じ仏さまの世界に生まれ変わり、先に往かれ、仏さまと成られた両親とまた遇えるのだ、と聞かされていたのでしよう。

広島は昔から、「安芸門徒」と称されている浄土真宗の信仰篤き土地柄ですから、この子たちのご家庭でも毎日仏前に手を合わせる生活が営まれてきたのでしよう。

「人身受け難し、今すでに受く。仏法聞き難し、今すでに聞く。この身、今生に向かつて度せずんばいずれの生に向かつてこの身を度せん。大衆もろともに至心に三宝に帰依したてまつるべし」
「礼讃文」。

人の命は受け難くして今受けることができず。仏法は聞き難くして今聞かせて頂く身になりました。この命がこの人生において救われなければ一体いつの世に救われるのでしようか。



☆行事ご案内☆

◇秋季永代経法要

9月21日(土)22日(日)両日共午後1時半

講師:加藤正人師(桑名)

お経開き(ご遺族招待者)21日午前10時半

夕方5時の鐘撞き年中無休、誰でも撞けますご褒美有一線会テレホン法話☎059・354・1454へ☎

◇報恩講 非時弁当はお持ち帰りか寺で会食OK、要予約

11月2日午後1時半 講師・大竹輝道師(桑名)

3日午前10時、午後1時(三全仏婦主催)

講師・貴島真行師(大阪)日替わりで講師が交替!

善正寺ホームページとブログ「住職と坊守のつれづれ日記」共に寺報掲載のQRコードから訪問可能スマホの検索バーのマイクからも可能。ホームページ左端「善正寺だより」をクリックしてファイルを開くと過去20年分の寺報が閲覧可。31年間毎月発行。好評ブログは過去16年間夫婦で毎日更新!過去44万3千人一日約80人が訪問新納骨堂後継者の無い方、墓でお困りの方相談下さい法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい新共同墓今年境内に記名板付で俱会一処の納骨室新設、



善正寺
ホームページ

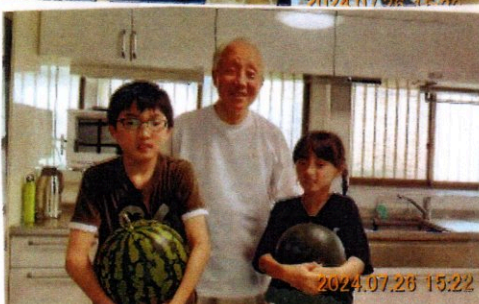


住職と坊主の
つれづれ日記



皆もろともに、心から仏法僧の三宝に帰依させていただきましよう。
悲劇は今も世界各地で起こっています。ウクライナ戦争やイスラエル、ハマスの終わりなき戦い、他にも軍事政権が旺政で庶民を苦しめる。サイバー攻撃や投資詐欺など、地獄、餓鬼、畜生の類が横行する今日、念仏の共の輪の中で心安らぐ日々を送りたいものです。

☆ 写真アラカルト ☆



孫6人式章付けてお盆の参り次男宅で

坊守スケッチ

七十代の心配事三つ

今年75歳の私は、運転免許証の更新で、認知症テストや技能講習を受けてお蔭様で更新できました。住職も白内障手術を大病院院で受けて、約5カ月間の運転免許空白期間を経て免許証が更新できました。

一つ目の心配事は、私達老夫婦は一体いつまで運転できるかと言う心配です。毎月発行する寺報を、住職はバイクで、私は徒歩で31年間近隣住宅地を配っています。特に高齢者のバイクは危険です。5カ月間の免許空白期間に、住職を送迎する役割は家族でした。遠距離通勤で大学勤務の若院を当分の間、家族総動員で支えなければなりません。私達老夫婦も安全運転に心がけて、できる限り運転し続けたいと思います。

二つ目の心配事は、お寺の仕事はこの先どうなるのだろうかという不安です。寺に嫁いで来た50年前と、現在とはお寺を取り巻く環境は全く変化しています。特にコロナ後は人間関係も希薄になり、ご門徒様とお寺の関係も様変わり。今までは私達の発案で、寺報やブログや様々なイベントを企画しましたが、このエネルギーも枯渇しがち。いくら寺は伝統



社会と雖も、時代と共に変革が必要。しかしそのヒントすら見つける気力がありません。果たしてお寺の未来はどの方向に向かうのか、私達の大きな心配です。

三つ目の心配事は、私達の健康不安です。今のところ大きな病気もなく通院と服用で日常生活が送れます。老化は足から進むと言われるので、毎朝垂坂山までの早朝散歩を励行しています。しかし年齢を重ねる毎に診察券が増え、以前のように活発に動けなくなりました。今後は三つの心配事を克服する為に、皆様のご協力を賜りながら、寺族が一丸となって日々精進する所存です。

ホットニュース

※今年度の門信徒会費を7月末〜8月初めにかけて行事さん、総代さん、住職らが手分けしてお願いに上がり、また振り込んで頂く方も多数あり、皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

※最近「墓じまい」で納骨堂に納められる方や、本堂で法事を勤められる方が増えました。ご希望の方は、寺にご相談下さい。

カンパありがとう

澤田美智江様、富田和代様、SB様、赤井淑子様、他、感謝申し上げます。

若坊守のことと日記No.1-6

日本が酷暑の最中、パリではオリンピックが開催されました。フランスは暖流や偏西風の影響を受ける西岸海洋性気候のため、北海道より北に位置していますが、温暖で湿度が低いです。オリンピック開催中に気温を調べてみたら、最高気温は高くても28度、最低気温は15度前後と朝夜の気温差が大きいことがわかりました。日本よりよっぽど過ごしやすそうですね。

「西岸海洋性気候」という言葉は、地理が得意な長男の口からすらすら出てきて、中学時代に習ったはずの私には初耳のような響きでした。

今回のオリンピックには野球とソフトボールが含まれていないので、我が家では盛り上がりには欠けますが、柔道の阿部一二三選手と詩選手の兄妹の姿が印象的でした。「詩選手の方が自分よりも負けず嫌いだ」と、一二三選手がコメントしていたのを聞いて、

(我が家と同じだな)と、世界の舞台で闘う兄妹に親近感を覚えました。

前回の東京オリンピックが賛否両論の一年遅れの無観客開催だったのですが、今回は予定通りに開催出来て良かったです。パリで闘った全ての選手に敬意を表し、拍手を送ります。



俳壇

夏風邪や八十三歳疲れ病 釋妙水
初物や仏壇に供え桃ひとつ
児の浴衣キヤラクター柄動き出す

笹群に朝露吸うや糸蜻蛉 釋榮邦

大合唱苦情来ぬかと庭の蝉
扇風器片手にお喋り女学生
味噌汁と昔なつかし麦飯や 釋住安

墓掃除鬼灯添えて盆を待つ
姉縫いしハンカチ小さくたたみけり
何もかも問答無用蝉しぐれ 釋妙梅

“天花粉”塗られ気分は舞妓はん
学生汗の匂へる三両車 釋秀龍

五月雨の夜の胃薬のくさひくさひ
扇子閉じホットドックを受け取れり
青田中白鷺くるり小休止 釋清風

短夜や寝覚めはかなき夢ばかり
名なし草風に揺れけり朝の涼

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」369号をお届けします。◇安政大地震(1854年)の90年後、昭和東南海地震(1944年)が起り、それから80年後の今夏、南海トラフ大地震の注意情報が発出されました。防災意識を十分に持ちつつ日々精進したい。◇この夏は過去(統計を取り始めて以降)126年で最も暑い夏、昨年に続いて記録更新。米も不作、果物も不出来、魚も獲れず業者泣かせとか?つい愚痴がこぼれるが、ご先祖さん方のご苦勞を偲び、生かされるご縁に感謝しつつ、合掌。

連日の猛暑でエアコンの休む暇がない毎日です。一体この暑
はいつまで続くのでしょうか。またかつてない線状降水帯
全国各地で大雨による土砂災害が発生しました。
災された皆様は、猛暑の我慢のみならず、不自由な
生活を強いられて、ご苦勞の多い毎日だとお見舞申し
げます。テレビでは、パリ五輪の熱戦が放映されて悲喜
もごもの熱い闘いが伝えられます。期待された選手の
想外の敗退がある一方で、若手選手の思わぬメダルは
得に歓喜し、暑さをしばし忘れるひと時です。「人生は
努力したら必ず報われる」という常識が通用しないこ
も度々あります。負けた選手の悔し涙を見ると「大
丈夫、これをバネに次のステージに羽ばたいて」と願ひ
す。素晴らしい結果を出した選手には「決して栄光の
ひに驕ることなく、今まで以上に頑張ってください」と応援
します。「一番を取るのには易しいが、一番を続けるのは
難しい」とは、先人が教えて下さった戒めです。仏教で
他と比較して誇り、自らを誇る「憍慢心」を強
戒めています。スポーツは専ら競争の世界です。
長い人生を俯瞰して見ると、競争で翻弄
れるのではなく、マイペースで一日一日を丁寧に生
ることがより大切だなあと思ひます。9月21(土)
22日は秋季永代経です。両日共午後一時半よ
先立った人々の願ひに気づかせて頂きましよう。皆様
ご參詣をお待ちしています。

令和六年九月

善正寺方守年

合掌